

ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策室 ビジネス・防災対策委員会
委員長 飯笹 壽久

昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済・日常生活ともに様変わりしています。県内の経済状況も少しずつ状況は持ち直しつつありますが、まだまだ先行きは不透明であり、県内企業は人材不足、新型コロナウイルスに対応したビジネスへの課題意識が高まっています。また、佐賀県内においては、2021年8月の大雨は2019年8月に匹敵する甚大な被害をもたらしました。毎年自然災害の影響が出ており、ビジネスを継続していくためには、防災・減災への取り組みが必要です。

まずは、災害時に迅速な対応をするために、現在締結している青年団体協定に基づき活動を推進し、他団体との連携を拡大することで、早期の復旧、物資確保・供給につなげていきます。そして、安心・安全なまちづくりをするために、行政・地域と協力しあうことで、災害に強いまちづくりにつなげていきます。さらに、若い世代の防災・減災意識の向上のために向けた親子参加型の防災事業を展開することで、防災意識の向上で災害が子どもに与える影響の軽減につなげます。また、災害時に重要となるボランティアへの参加意識向上のために、大学・短期大学・専門学校との連携を進め、ボランティア数の確保、学生への学びにつなげていきます。そして、ビジネス分野においてはメンバーの社業発展のために、メンバー自身の課題解決に向けた場を提供する事で、メンバーの学びや社業の発展につなげ、佐賀経済の活性化に貢献し、メンバー一人ひとりが地域を担う青年経済人としての質の向上を目指します。

ウィズコロナの時代生き抜き、アフターコロナに向けてより良い地域社会創りに貢献していくには、地域の方々と手を取り合い、佐賀青年会議所でだからこその事に挑戦し続け、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

[事業計画]

1. 防災事業の企画・運営（6月）
2. 新年会の企画・運営（1月）
3. サマーコンファレンスのアテンド（7月）
4. 例会の企画・運営（5月・9月）
5. 薩長土肥の企画・運営（11月）
6. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）